

一般質問



嶋田
議員

○ふるさと納税の現状と今後について

質 近隣三市の納税の総額と件数はどのようになっているか。

政策企画課長 本年12月末現在で、平戸市が約4万5千件の25億円、佐世保市が約10万5千件の24億円、伊万里市が約5万5千件の9億円、本市が約2万4千件の3億6千万円となっております。

質 1件当たりの金額ではどうなっているか。

政策企画課長 1件当たりでみると平戸市が約5万6千円に、佐世保市が約2万3千円に、伊万里市が約1万8千円に、本市が約1万5千円となります。

質 松浦市にとってふるさと納税の取り組みは、逼迫した財政状況を考えれば市の最重要課題であるといえる。納税者への農産品や水産品の返礼品には、商工や観光を含めて他市に負けないものがあると思う。業務を担当する組織体制の見直しも含めて、全職員挙げて取り組む必要があると思うがどうか。

市長 ふるさと納税の目的でもあり

ます地元産品の生産と販売拡大による地域経済の活性化、あるいは指摘がございました財源の確保につきましては、このことを念頭に置いて積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

○伊万里松浦病院誘致現状について

質 病院の誘致については、多くの市民の皆さまからの声が寄せられたと思うが、市民にとっては救急医療に対する不安もあり、10年後、20年後の地域医療がどうなるのかといったところを見据えた対応が求められている。行政としても最重要課題としての認識を持って取り組まれているのか、その意気込みを伺いたい。

市長 ぜひとも松浦に立地して頂きたいとの思いから、市としても最重要課題として取り組んでおります。地域医療機能推進機構におかれては、本年度中にもその方向性を示し頂けるのではないかと見通しを立てております。市議会におかれてもぜひお力添えをお願いしますとともに、市民の皆さま方にもご協力頂きたいと心から願いますのでございます。

その他東部工業団地の誘致現状について、消防団の現状と今後について及び認定農業者について質問をしました。

一般質問



白石
議員

○松浦市の人口増対策について

質 松浦市住みたい・住み続けたいまちづくり条例が施行され、財政支援と人的支援を行うとあるが、どんな計画をし、その成果はどうなっているのか。

子育て子ども課長 高校生までの医療助成に約116万円を、不妊治療費助成に約98万円を、子育て家庭と転入者の家賃助成に総額約2千324万円を支給しております。

学校教育課長 教育支援員増員のほか学校と地域が一体となった取り組みなどの支援を行っています。

質 同じく就業の機会の創設とあるが、九電2号機建設における雇用の拡大の可能性はどうなっているのか。

企業立地課長 九電に対し、建設事業者はできるだけ市内業者をと要望しています。

質 年度ごとに重点的に財政上の措置をすべきと思う。人口動態を見ると、年齢区分で特に減少しているところがある。その部分に対策を講じるべきではないか。

総務課長 27年度は、結婚、妊娠、出産、子育て支援事業と住宅確保や居住継続支援事業などに重点配分し

ました。28年度は、教育に関連する事業や結婚を機に居住する若い世代の新生活支援などに重点配分しています。

質 減少著しい青島、飛島、黒島の離島に対しては、より住みよい環境整備を図ることで減少を止め増加につながらないか。また、高齢化率は高い。それにふさわしい農業や水産業の振興をすべきではないか。

水産課長 水産では沿岸域の漁場整備と観光や体験型漁業への対応が、農業ではプロコリーなどの軽量野菜栽培などが考えられます。

質 人口増対策に対する市長の考えをお聞かせください。

市長 若い世代を確保していくとともに産業の振興と併せ交流人口拡大につなげていきたい。

○大崎小嶋古墳群の再調査について

質 本市に史跡が少ないのはなぜか。

文化財課長 文化財保護条例に基づき重要な遺跡を指定しております。

質 合併後の市史編纂をどのように考えているか。

文化財課長 今後検討してまいります。

質 小嶋古墳群の再調査を行うよう要望したい。

文化財課長 古墳の築造年代や規模は判明しておりますので、現状のまま後世に残すべきと思います。現時点での再調査は考えておりません。